

# はぐくみ会だより

第 43 号

平成29年 4月 1日

## 「初代校長 納富介次郎」

畑 正吉 作

(明治31年木材彫刻科速成科卒、34年木材彫刻科本科卒)



弘化元年肥前(現佐賀)小城藩の国学者柴田花守の二男として生まれ、16歳の時、佐賀藩義士納富六郎左衛門の養子となりました。幼い頃から学を好み、書画詩歌にも長けて神童とよばれ、17歳の時には長崎で南宗画を学びました。その後、維新の志士江藤新平、後藤象二郎、副島種臣等と交遊を深めました。また高杉晋作、五代才助等と上海に渡り、欧州列強の進出を目の当たりにし、外国貿易の必要性を痛感しました。

明治6年にウイーン万国博覧会へ審査官として渡欧、万博終了後伝習生としてヨーロッパ各地の工芸の技術を研究し修得して帰国しました。明治9年の米国のフィラデルフィア万国博覧会にも事務官として現地に派遣され、審査官に任命されました。しかし、介次郎の主眼は日本の産業技術の向上にあり、官を捨て工芸、工業教育の必要性を主張して、石川県工業学校、香川県高松工芸学校、佐賀県有田工業学校を次々と設立、数多くの工芸家、美術家を育てました。

# 第23回 青井中美展

11月17日(木)～12月4日(日)

## 浅野詩桜さん(中田中学校)青井大賞に輝く

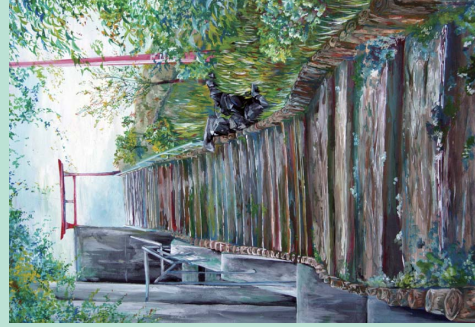
今年は46校から絵画209点、彫刻57点、工芸119点、デザイン190点の計575点の応募があった。



● 青井大賞 「庭先を眺めて」  
高岡市立中田中学校  
三年 浅野 詩桜



● 富山県知事賞 「発展途上」  
高岡市立志貴野中学校  
三年 山谷 充輝



● 富山県教育委員会教育長賞  
「空へ抜けてゆく」  
南砺市立庄川中学校  
三年 南部 百香

### 各賞受賞者

青井大賞	浅野詩桜	(中田)
富山県知事賞	山谷充輝	(志貴野)
富山県教育長賞	南部百香	(庄川)
最優秀賞	上野真菜	(高陵)
優秀賞	阿蔵大希	(天谷)
富山新聞社優秀賞	藤田亜弓	(天門)
チユリツテシヒ優秀賞	梶唯	(志貴野)
優良賞	横井嘉人	(津沢)
富山新聞社優良賞	新田悠哉	(早月)
富山新聞社優良賞	中居佳菜	(高陵)
チユリツテシヒ優良賞	阿部礼文	(新高)
チユリツテシヒ優良賞	松田梨那	(中田)
特賞	山下真礼	(中田)
特賞	桶元愛莉	(西条)
特賞	中村貫路	(津沢)
特賞	長田笑実	(蟹谷)
特賞	大村幸高	(西条)
特賞	塚本さくら	(高陵)
特賞	山中室鈴	(津沢)
特賞	山室小鈴	(小津)
特賞	四ツ柳百花	(南星)
特賞	溝口駿介	(高陵)
特賞	竹田ひなた	(出町)
特賞	上野若菜	(南星)
特賞	幸星	(井波)

## 同窓生ギャラリー

第106回

12月17日(日)～1月9日(月・祝)

### 高田望 展



今年度、「改組新第3回日展」洋画部門で高岡おとぎの森にある水門をモチーフにした「初夏の朝」で初入選を果たした。

風景画を中心に計15点を展示した。

高田 望 …… (平成23年デザイン科卒)

今回、初個展を青井記念館美術館で開催させて頂き、多くの方に支えられ、無事に会期を終える事ができました。初めての個展で不安でしたが、たくさんのお客様にご覧いただき、今後の大きな励みになりました。感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を活かし、より一層の努力を重ね、自分らしい作品を追求していきたいと思っております。

\*\*\*\*\*

第107回

12月17日(日)～1月9日(月・祝)

### 平瀬由衣 展

—平成レトロ—

「平成レトロ」をテーマに人間の本質を現代風に自由に表現した作品90点を展示した。

平瀬 由衣 …… (平成21年建築科卒)

現在、漫画家を志し活動しています。幸福とは、個人の役割を自覚し良心に従って生きる事だと確信します。そして、女性の役割に焦点があたる時代です。「直観や無意識」は、初めから正しい判断をする時があります。鍛錬を積んだ職人などが、群を感嘆、女性三切



# 平成28年度 課題研究作品展

各学科で学んだ3年間の集大成として、テーマを決めて一年間かけて制作した作品を一堂に展示した。

平成29年2月18日(土)～3月3日(金)

## 平成28年度 表彰者一覧

### 優 秀 賞

#### 機 械 科 「ザ・ブッシュの製作」

森田 陸生・高橋 誠一・尾山 雄斗  
関澤 勇人・関藤 瓜・西尾 直人  
水野 快乙

#### 電 子 機 械 科 「多機能型自動販売機の製作」

高野 嗣淳・小島 大知・重光 諒人  
竹津 元喜・西島 徳章・東谷内 翔  
堀岡 優悟

#### 電 気 科 「テトリスゲームで遊ぼう！」

秘盛 功陽・竹田 亮大・常川 真裕  
樋掛 友浩

#### 建 築 科 「屏風絵による復元模型」

『伏木・瓦師の家』  
将也・池上 颯汰  
中崎 勇心・水本 心介

#### 土 木 環 境 科 「橋梁模型の製作」

小川 裕司・佐武 朋成・南 輝樹  
室崎 真志・大和 晃輔

#### 工 芸 科 漆芸パネル 『四季』

湯淺 美月

#### デザイン・絵画科

#### 「青貝塗りのアクセサリーブランド化計画」

今井 日菜



## 「素晴らしいものづくり」 教頭 金尾 靖治

平成28年度の課題研究作品展が、平成29年2月18日(土)から3月3日(金)まで、本青井記念館美術館において開催されました。

展示された作品は、本校3年生が「課題研究」の授業を中心に、個人またはグループで1年間をかけて完成させたもので、入学以来学んできた専門に関する学習の集大成の作品です。

「課題研究」は基礎的・基本的な学習の上に立って、課題を自ら設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ると共に、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力や自発的、創造的な学習態度を育てることをねらいとしています。

この作品展に先立ち、各学科内で発表会を実施し、2月16日(木)には、7学科の代表作品の全校発表会を行いました。どの発表も各学科の特色を出した大変素晴らしいものでした。今年も多く多くの生徒・保護者・市民の皆様方にご鑑賞いただき、感謝申し上げます。

3年生の皆さんには、この経験をいかして、それぞれの道で活躍してくれるものと期待しております。

## 優 秀 賞

### 「課題研究を通して 多機能型自動販売機の製作」

平成28年度 電子機械科卒業生

高野 嗣淳

私たちは今回、課題研究で自動販売機を製作しました。最初は簡単に思っていた課題研究でしたが、いざ製作を開始すると思うように製作が進まず苦難の連続でした。しかし、その苦難は班員と協力することで乗り越えることができました。苦難も今ではいい思い出です。課題研究を通して得たものは、協力する大切さ、苦難を乗り越える力です。この貴重な経験を忘れず今後の人生や就職時に活かして生きたいと思えます。

## 第108回

3月9日(木)～3月20日(月・祝)

## 勝見ふうたろー

— 世界最終目標 —

描きおろしの絵巻漫画「世界最終目標」は大画面で未来世界の絶望と希望、新たな可能性を提示、また今までに制作してきた作品、漫画・イラストの原画を総数約500枚展示した。

### 勝見風太郎

……………(平成29年デザイン絵画科卒)

18年間住んだ富山県を離れるにあたり、ものを作ってきた者として何か自分なりに展覧会出来ないかと考え「世界最終目標」展を企画しました。

高校3年間で描いてきたイラスト、漫画の原画を約500枚、友達3人と一日がかりで展覧しました。この展覧会の目玉作品である絵巻漫画「世界最終目標」は、15mの長さの中に自分なりの未来予想図を表現してみました。また、「それでも」の作品では人間の強さをえがきました。

これからは大阪の大学で学びますが、その中で自分なりの進化が自分なりに楽しみます。



めから備わっている能力です。それは男性や子供に正しい判断を与える為です。男性は世界を構築します、が女性は人を生み育てる役割があります。今回、その女性の精神を表現しました。

\* \* \* \* \*



## 収蔵作品展Ⅳ期

3月25日(土)～4月9日(日)

### 創立百周年寄贈作品展 後期

～洋画・彫刻・デザイン・写真～

洋画 8点・版画 2点・彫刻 13点・  
デザイン 2点・写真 2点、計 26点  
を展示した。



ほかにも心打たれる作品がたくさんあり、「烈」は黒、赤、金といったメリハリの効いた白がぱつと目に飛び込んできて、力強さを感じました。このような作品を鑑賞出来る美術館が学校にあるのは素晴らしい改めて思いました。

「大地」という作品は、実物は展示されていませんでしたが、複写写真からもひかれるものがありました。描かれている砂が凸凹しており、その足跡から馬の動きが見えてくるようでとても生命の力を感じました。馬と黒と砂の白のコントラストもきれいだと思いました。

「港」は曇りの空の下港に停まる船が描かれていて、空や海に使われている色からひひしと哀愁が感じられました。そのよつばな色を使えるのがすごいと思いました。

たの「港」「大地」の二つの作品でした。たの「港」は曇りの空の下港に停まる船が描かれていて、空や海に使われている色からひひしと哀愁が感じられました。そのよつばな色を使えるのがすごいと思いました。

## 「収蔵作品展を鑑賞して」

1年デザイン・絵画科 中町 美月

高岡工芸高等学校の卒業生の方々の作品は、どれも素敵で見回るのが楽しかったです。その中でも、特に好きだと感じたのが「港」「大地」の二つの作品でした。

## 収蔵作品展Ⅲ期

1月21日(土)～2月12日(日)

### 創立百周年寄贈作品展 前期

～日本画・工芸～

## 企画展

### ●工芸科作品展(工芸科1・2年)

#### 「工芸作品に思う」

1年 工芸科 白山 莉子

工芸科は木材工芸コース、金属工芸コース、漆工芸コースの3コースに分かれて伝統工芸について学んでいます。

私は、木材工芸コースを選択しています。このコースは、彫刻や家具の製作を通して木材の特徴等について学んでいます。これまで時計やスツール、棚を製作しました。

そのほか、金属工芸コースでは、表札や茶托、漆工芸コースでは、お盆、携帯電話のケース等製作しました。いままでの実習体験で作品のデザインや使いやすさなどの工夫をすることが大変楽しくやれたと思っています。

また、使う人の思いやりを持つても作品製作に取り組んできました。

現在、伝統工芸に携わる人が激減していますので、ひとりでも多くの人に伝統工芸品の良さを広めていけるような活動をしていきたいです。



### ●ギャラリートーク(デザイン・絵画科全学年)

#### 「第2回制作展」で感じたこと

1年 デザイン・絵画科 村田 菜由

私は、今回この制作展に参加してとても学ぶところが多い活動だったと思いました。私もいくつか作品を出し、友人と作品を見比べたり、評価しあったりして、良いところ、改善したほうが良いところを出し合いました。同級生や先輩の作品も勉強になりました。なかなか普段じっくり見る機会もないので、新鮮な気持ちで見ることができ、また新しい視点を持つことができ楽しかったです。

私は、まだ作品数が少なく、あまり多くの作品を出すことが出来ませんでした。来年は多くの作品を出して沢山のの方に観てもらいたと思います。また自分も積極的に皆の作品を見て、良いところを見つけて自分の作品にも生かしたいです。

来年も楽しみにしています。



3月18日(土)～4月9日(日)

1月21日(土)～2月12日(日)

## 編集後記

今年度は、同窓生ギャラリートーク展を8回と、昨年からは始めましたデザイン・絵画科と工芸科の特別企画展を開催させて頂きました。これらの展覧会を通して同窓生の方々の活躍ぶりを紹介することが出来ました。また、ギャラリートークを実施し、作家さんから現役高校生や一般来館者に作品について解説して頂き、好評でした。

今後とも充実した美術館運営が出来るように一層の努力をして参りたいと思っています。よろしくお願いします。

## 編集発行

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 ☎931-8318 高岡市中央一-1-110

TEL ☎七六二二-11630

FAX ☎七六二二-11631

## はぐくみ会会員募集のお知らせ

年会費(年1回納入)

- ・一般会員(個人) 2,000円
- ・特別会員(企業・団体) 10,000円
- ・会費納入は下記お願いします。  
(直接事務室への納入も可能です。)

銀行 富山信用組合高岡北支店  
口座番号 20111105  
富山県立高岡工芸高等学校  
青井記念館美術館はぐくみ会

郵便局 口座番号 00710-031307  
富山県立高岡工芸高等学校  
青井記念館美術館はぐくみ会

詳細は青井記念館美術館の事務担当までお問い合わせください。

連絡先 高岡工芸高校  
TEL (0766)21-1630(内)